

3 高等部

(1) 教育目標

様々な経験をととして、知識や技能を深め、自己選択・自己決定・自己表現できる力を高め、課題解決しながら学び、多様な他者と協働する

(2) 方針

- ア 生徒一人一人の障がいの特性や発達状況を理解し、効果的な指導・支援に努める。
- イ 生徒一人一人の課題を解決するために、適切な学習集団と指導・支援体制の編成に努める。
- ウ 基本的な生活習慣の定着を図るため基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現等を育てる。
- エ 生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送るための基礎が培われるように努める。
- オ キャリア教育及び職業教育を推進するために、保護者、進路支援部、あゆみの会、市町村福祉課、医療などの関係機関と密に連携し、指導内容の改善・充実を図る。
- カ 地域及び産業界や労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、卒業後の生活がより充実できるよう就労体験活動の機会を積極的に得るように努める。
- キ 小学部、中学部、寄宿舎、各分掌、事務と連携し、全校的な視野に基づいた指導に努める。
- ク 地域資源を活用した学習活動をととして、地域社会で生活するために必要な力の育成に努める。
- ケ 本人や保護者の願い、生徒の実態を的確に把握し生徒一人一人に応じた進路指導に努める。
- コ 卒業後の自立と社会参加につながる力を育む「個別的教育支援計画」の活用にも努める。

(3) 今年度の重点

- 一人一人を尊重し、生徒のよい点や可能性を生かして学べるよう指導・支援に努める。
- 生徒一人一人が自分の価値や可能性に気づき、将来の生活に向けて主体的に学習できるよう指導・支援に努める。
- 地域資源を活用し、地域との協働による教育活動の充実に努める。

(4) 教育課程

ア 編成の方針

- (ア) 学校教育目標、学部目標を踏まえ学級目標を設定する。また、生徒一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた個別の指導計画を立て効果的な指導を行う。
- (イ) 生徒一人一人の実態を的確に把握し、課題を解決するための手立てや学習集団を工夫し、指導の充実を図る。
- (ウ) 日常生活の指導、生活単元学習、作業学習の各教科等を合わせた指導を基本に教育課程を実施する。
- (エ) 各教科等を合わせた指導と各教科等の指導との関連を図りながら指導計画を作成し、実施する。
- (オ) 総合的な探求の時間を設け、キャリア教育の視点から将来自立と社会参加につながる指導内容の改善・充実を図る。
- (カ) 特別な教科道徳については、卒業後の生活を見据え、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるように全教育活動を通して意図的、継続的な指導が行う。
- (キ) 指導の記録をとり、学校評価及び教育課程改善に努める。
- (ク) 新学習指導要領に対応した教育課程の編成、改善に努める。

イ 教育課程の編成

(ア) 各教科等を合わせた指導

○日常生活の指導

日常生活が充実し、高まるように日常生活や社会生活において必要な内容を習得し、健康で安全な生活習慣を形成する。

○生活単元学習

生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、社会参加のために必要な知識や技能、態度を身に付ける。

○作業学習

作業活動を学習活動の中心にしながら、将来の社会参加に主体的に関わるための、知識、技能、態

度を身に付ける。

(イ) 各教科の指導

○各教科の指導

a 国語

- ・社会生活に必要な聞く・話す・読む・書くなどの知識や技能を身に付け、人との関わりの中で伝え合う力を養う。

b 社会

- ・生活と結びつけて地理的環境、現代社会の仕組みや働き、歴史や文化、外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解する力を身に付ける。

c 数学

- ・数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、数学的な表現を用いて生活や学習に活用しようとする力を養う。

d 理科

- ・自然に親しみ、自然の事物・現象について疑問を持ち、解決するために基本的な理解を図り、主体的な生活に往かそうとする態度を養う。

e 音楽

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽表現を創意工夫したり、自分なりに評価したりしながら豊かな情操を養う。

f 美術

- ・造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深め豊かな情操を養う。

g 保健体育

- ・生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質、能力を身に付ける。

h 職業、家庭科

- ・将来の職業生活を見据え、職業生活に係る技能を身につけ生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

i 外国語

- ・外国語に慣れ親しみ、外国語の背景にある文化を知り、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

○特別活動

- ・学校行事、学部行事、学級活動等の集団活動をとおして、お互いの良さや可能性を発揮しながら、多様な他者を認め理解しながらよりよい生活態度を身に付ける。

○自立活動

- ・自立を目指し障害によって生ずる困難の軽減、障がいの受容のために必要な知識、技能、態度を養う。
- ・将来の生活をする上で、自己選択、自己決定ができ自己を肯定的に捉えることができるよう指導の充実を図る。

○特別な教科 道徳

- ・人間としてのあり方、生き方についてよりよく生きるために主体的に判断し協働して学ぶ態度を養う。

(ウ) 総合的な探究の時間

- ・自ら社会に関わり主体的で協働的に取り組みことで、自己の在り方生き方を考えながら、課題をよりよく解決できるような態度を身に付ける。

(5) 年間行事等

実施期間	行 事	実施期間	行 事
6月2日～	社会生活実習（高3）	9月16日～	社会生活実習（高1）
6月19日～20日	宿泊研修（高2）	9月24日～26日	見学旅行（高3）
7月4日	体育大会	11月14日	文化祭
9月8日～	社会生活実習（高2）		